

# 田屋遺跡第4次発掘調査現地公開資料

主催 公益財団法人和歌山県文化財センター

令和元年6月20日

県道紀伊停車場田井ノ瀬線道路改良工事に伴い、平成27年度から田屋遺跡の発掘調査を行っています。

田屋遺跡は弥生時代～古墳時代、奈良時代～平安時代の集落遺跡で、今回の調査は約1,000㎡を対象として実施しています。



遺跡の位置と周辺遺跡

## 第4次調査1区（調査区北側・すでに埋戻し済み）

第4次調査1区では、遺跡の東西に延びる溝や、第4次調査2区に延びる耕作痕を検出しました。



第4次調査1区全景（南から）



溝と杭列の検出状況（北西から）

## 第4次調査2区（調査区南側・今回の公開範囲）

第4次調査2区の中央では、幅約2.3m、深さ約60cmの溝を検出しました。この溝に沿って、杭列とみられる痕跡も見られます。また、第4次調査2区北西部では、古代の土

第4次調査2区の北側と南側で検出した鋤溝の方向が異なることから、第4次調査2区は水田区画の境目を含んでいる可能性があります。

調査区の位置や過去の調査から、今回の調査区はかんがい用水との関連が考えられ、今後は出土遺物等のさらなる検討が必要です。



古代の土器が出土した土坑（東から）